

# 「乾癬における爪症状と他症状との関連についての検討」

2019 5 9 2022 3 31

## 〔研究課題〕

乾癬における爪症状と他症状との関連についての検討

## 〔研究目的〕

乾癬患者の爪症状を評価し重症度をつけ、爪症状が、関節炎の有無とその重症度、皮疹の重症度、治療抵抗性とどのような関連があるかを検討します。

## 〔研究意義〕

乾癬性関節炎は関節破壊が不可逆的に進行し関節変形や機能障害を引き起こす例があり、早期の診断と治療介入を必要とする病気です。乾癬性関節炎の病勢と、乾癬の爪症状との関連を検討することで早期の乾癬性関節炎の発見に役立つ可能性があります。

## 〔対象・研究方法〕

2015年4月から2018年12月までに帝京大学医学部附属病院皮膚科を受診した乾癬性関節炎患者さん約20名と尋常性乾癬患者さん約30名、膿疱性乾癬患者さん約10名が対象となります。それぞれの患者さんの初診時の爪症状の重症度（NAPSIスコア）、関節炎の有無やその重症度（DAS28-CRP）をカルテから後ろ向きに収集し、NAPSIスコアとの相関関係を検討します。

## 〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属病院 皮膚科

責任者：帝京大学医学部皮膚科学講座 主任教授 多田弥生

## 〔個人情報の取り扱い〕

個人情報は厳重に管理されます。学会や論文など学外へ情報を発表する際には匿名化を行うため、患者さんが特定されることはありません。